

I 実践

1 研究主題

豊かな人権感覚をみがき、人権意識を高める教育活動の工夫

(1) 主題設定の理由

本校では、県や市の教育目標や人権教育の視点を受け、人権教育の経営方針として「学校教育全体を通して、差別や偏見をなくす人権尊重の教育を推進するとともに、心身の健全な発達を図り、誰とでも公正公平な態度で接していこうとする児童を育成する」ということを掲げている。その実現を図るために、本年度は「豊かな人権感覚や人権意識を醸成する教育活動の工夫と年間指導計画の工夫・改善」を努力点としている。

(2) 研究の内容

ア 教科経営の中で

各教科での学習活動を通して、互いに良さを認めあったり尊重し合ったりしながら、一人一人の児童の良さを伸ばしていく学び合いが展開できるようにする。

イ 道徳の時間の中で

個人の尊厳についての自覚を深めることができるように、生命尊重の心、感謝の心、思いやりの心、公平・公正な態度などを中心に、人としての生き方や感性が身につけられるように努める。

ウ 特別活動の中で

児童の自主的・主体的な活動を重視した様々な活動の中で、互いの良さを認め合い協力し合うことができるようにする。

エ 学年・学級経営の中で

一人一人の居場所があり、自他の良さを感じていけるような温かなかわり合いの場を作りながら、個の良さが生きる望ましい学級集団を作っていくように努める。

オ 総合的な学習の時間

体験学習や課題解決学習の中で、人間的な触れ合いを通して、思いやりや平等、人権の精神の育成を図る。

カ 教科外活動

兄弟学級班を編成し、異年齢集団で協力し合って海岸清掃等を行う。

キ 家庭・地域への啓発

家庭・地域との連携を積極的に図り、人権教育への理解・協力が得られるようにする。

2 実践内容

(1) 教科の中で

第1学年は、生活科の学習の中で7月と11月に昔からの遊びやお年寄りとのふれあいの楽しさを味わい関心を高めることをねらいとして、交流センターの方々を招いて取り組んだ。お年寄りから、昔からの遊びを教わる活動に児童はとても楽しんで取り組むことができた。

内容

はじめの会

昔遊びを教えてもらう

夏の遊び

・びゅんびゅんごま、紙鉄砲、ストロー笛、笹舟、竹とんぼ、水鉄砲

冬の遊び

・リング飛行機、お手玉、あやとり、こままわし、羽根つき

終わりの会

第4学年は、親子学習会の中で「助産師等が伝えるいのちの教育」を行い、いのちのかけがえのなさ、大切さ、すばらしさを伝え、子どもたちの自他共に大切にすることを育むとともに、親子の絆を深めることを目的に取り組んだ。

内容

第1部（児童及び保護者）

- ① 助産師からの話「命の大切さについて」
- ② 母親からの話「あなたが生まれたとき」
- ③ 自分の心臓の鼓動を聞く。（聴診器）
- ④ 参加児童の感想発表

第2部（保護者のみ）

- ① 助産師からの話「思春期の子どもの変化と、親の対応について」
- ② 質疑（事前アンケートから）
- ③ 謝辞（保護者代表1名）
- ④ アンケート回収

（2）道徳の時間の中で

日立市法務局で、「ねずみくんのきもち」（低学年）、「名前…それは燃えるいのち」（中学年）『人権』ってなんだろう」（高学年）の3本のビデオを借りて、各クラスで視聴してもらい、その感想を児童に書いてもらった。このビデオの感想は人権メッセージに応募もしている。児童の感想文を1例ずつ記載する。

うれしかった。なかよくなれてよかったね。みんな違っていいんだよね。思いやりは大切なんだよ。みんな小さかったら困っちゃうね。みんな違っていいんだね。（低学年）

ビデオを見て分かった事はまず、自分の名前を大切にしようと思いました。次に他の国の事を考えようと思いました。どんな名前も大切だと思いました。でも嫌なあだ名はだめだと分かりました。これからはいろいろな名前の事や国の事を色々考えたいです。（中学年）

自分がいじめ差別などをしていないと思っていてもしているときがあると思う。もう一度自分を見直して自分も大切なように他人も大切にすることが必要だと思う。（高学年）

（3）学校行事の中で

創立記念日を迎え、学校をきれいにしようとする態度を育てるとともに、学校を温かく見守ってくれる地域をきれいにしようとする態度を育てることをねらいとして「河小クリーン作戦」を行った。1～4年生は校内の清掃、5・6年生は校外の清掃に取り組んだ。学校内外がきれいになることを実感する児童が多くいた。

II 今後の課題

- 1 各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間、学級経営、生徒指導とあらゆる学校生活の中で児童一人一人に人権について考える場や体験活動を設けながら、自己や他者を大切にする人権意識や人権感覚を育てたい。
- 2 職員研修や家庭・地域への啓発を充実させ、学校・家庭・地域が一体となり人権教育に取り組めるように努めたい。

III 人権コーナー設置の様子

児童の人権メッセージや人権だよりなどを掲示している。

